

# 授 業 観 察 記 録 カ ー ド

年 月 日 ( ) 校時 年 授業者 ( )  
 教科名 ( ) 単元・教材名等 ( )  
 観察者 ( )

着眼点	<input type="radio"/> 児童理解 <input type="radio"/> 指導計画の実施・評価の状況	<input type="radio"/> 指導計画の作成 <input type="radio"/> 指導内容・教材の工夫	<input type="radio"/> 知識・技能の保有・活用 <input type="radio"/> 児童の変容
具体的観点	<input type="checkbox"/> 児童一人一人の興味・関心や理解度等の把握 <input type="checkbox"/> 実態に即した指導計画の作成 <input type="checkbox"/> 適切な発問・指示・説明 <input type="checkbox"/> 指導計画・シラバスに基づく指導・評価の実施 <input type="checkbox"/> 指導方法・内容の創意工夫 <input type="checkbox"/> 問題解決的学習の実践・充実 <input type="checkbox"/> 本時で培う力の定着	<input type="checkbox"/> 児童一人一人を寛容するあたたかい対応・態度 <input type="checkbox"/> 個に応じた指導・支援 <input type="checkbox"/> 学習の徹底を図る板書 <input type="checkbox"/> 児童の学習意欲を喚起する導入の工夫 <input type="checkbox"/> 教材・教具の創意工夫 <input type="checkbox"/> 学習への興味・関心、学習意欲の向上	
気づいた点			
指導事項			

(実践例 ① )

# 授 業 観 察 票

観察者名 ( 印 )

年 月 日	年・時限	・	教科名	該当者名
-------	------	---	-----	------

内 容	評 価 項 目	評 価	気づいた点・指導内容
指導計画 準備	・ 指導計画に基づく指導がなされているか。		
	・ 授業に係る準備は的確か。		
指導内容 教材の工夫	・ 興味・関心・意欲を高揚する教科指導になっているか。		
	・ 創意工夫された教材提示（板書含む）がなされているか。		
適切な発問 計画的な授業進展	・ 問題を解決するための適切な指導や発問が用意されているか。		
	・ 時間内に導入・展開・まとめが実施されているか。		
生徒の反応	・ 授業内容について積極的に参加する姿がみられるか。		
	・ ノート等に授業内容が整理されるよう指導がなされているか。		
事後処理 次回の計画	・ 個の理解度に関する整理がなされているか。		
	・ 次回の授業につながる計画が明確か。		

校長	印
----	---

(実践例 ②)

## 授 業 参 観 の 視 点

参観者

授業日時	月 日 ( ) ( )	校時	授業者
実施授業	( ) 科	( ) 学年	
視 点		コ メ ン ト	
<p>◎集中した授業であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活発な発言や熱気のある話し合いがなされている。</li> <li>・指導者の指示や説明が徹底している。</li> <li>・じっくりと考えたり課題に取り組んだりする。</li> </ul>			
<p>◎全員が参加した授業であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が課題に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・一人一人の発想を生かし認め合える授業である。</li> </ul>			
<p>◎焦点がはっきりした構造的な授業であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での目標ないし課題が授業者にも生徒にもはっきり意識されている。</li> <li>・発問は内容が明確でわかりやすく、学習の流れや生徒の思考を混乱させない順序性を持っている。</li> <li>・教材の提示の仕方、資料の活用の仕方、ノート指導は適切である。</li> <li>・板書は内容、形式（色や図式など）の工夫、丁寧など適切である。</li> </ul>			
<p>◎ゆさぶりと体験の豊かな授業であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の好奇心ないし内発的動機付けを喚起するような発問や事例教材の提示が行われている。</li> <li>・生徒に体験させたい探求、実験、工夫、討議等といった諸活動、さらにそれを通じて得られる発見、ふれあい、感動、達成感等を十分実現している。</li> </ul>			
<p>◎形成的評価の機能をいかした授業であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に関する興味、関心や既習事項、前提となる知識理解や技能をよく確かめた上で授業の設計と実施が行われている。</li> <li>・授業の途中で生徒の興味、関心の向きや理解の状況発想や思考の道筋等を適宜確かめ、それに基づいて授業を軌道修正している。</li> </ul>			
気づき、その他			

(実践例 ③)

# 観 察 ・ 指 導 記 録

授業・指導記録				
			職名	
			氏名	
主任等	分掌等	担当学年・教科等	年齢	所属校勤務年数
気づいた点				
月・日	観察事項	指導の内容・経過・結果	備 考	

(実践例 ④)

## 生徒による授業評価アンケート

このアンケートは、よりよい授業を作りあげていくために、常に授業の内容等を見直すための資料となるものです。生徒諸君が日々感じている授業についての印象や意見を建設的な観点からまじめに答えて下さい。従って、身構えたり、考え込んだりすることなく思うままに答えて下さい。  
(実技教科等で、当てはまらない項目は空白にしてください。)

4 : よく当てはまる 3 : やや当てはまる 2 : あまり当てはまらない 1 : ぜんぜん当てはまらない

- 1 学年
- 2 組
- 3 番号
- 4 教科番号 0 : 国語 1 : 地歴・公民 2 : 数学 3 : 理科 4 : 保健体育  
5 : 芸術 6 : 英語 7 : 家庭 8 : 商業 9 : 情報
- 5 教科内番号 (先生の番号)
- 6 質問の仕方が分かりやすい
- 7 授業の最初に目標 (その時間でやること) などが示されている
- 8 「～しなさい」などの指示がはっきりしていて分かりやすい
- 9 授業の進み方はちょうどよい
- 10 ノートやワークシートを見て、授業内容を思い出すことができる
- 11 黒板の字は、丁寧で読みやすい
- 12 大切なことや、覚える (できる) ことがはっきりしている
- 13 授業の内容はテストに生かされている
- 14 解き方や考え方の説明が、詳しくて分かりやすい
- 15 声の大きさや話すスピードはちょうどよい
- 16 生徒の方を見て説明してくれている
- 17 授業中、生徒の意見に耳を傾けてくれる
- 18 分からない人には、分かりやすいようにしてくれる
- 19 自分の興味や関心がわき、学びたいと思う授業だ
- 20 授業で「分かった」「できた」と思うことがよくある
- 21 予習がしっかりできた
- 22 復習がしっかりできた
- 23 授業に集中して取り組めた
- 24 自主的な学習の習慣ができた
- 25 課題、提出物は期限までに出した
- 26 授業に意欲的に参加した

下に進め方や教え方で続けてほしいこと、逆に直した方がよいと思われることや要望があれば書いて下さい。

(実践例 ⑤)

## 面 接 表

職・氏名		分掌名		担任の有無																								
<p>1. 当初面談の診断及び指導・助言内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">診 断 項 目</th> <th style="width: 40%;">評 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 目標設定は適当であるか</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> <tr> <td>・ 目標達成の具体的な手だては妥当であるか</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> <tr> <td>・ 意欲的に研究・研修計画を思考しているか</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> <tr> <td>・ 総合的に積極的な内容となっているか</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> <tr> <td>・ 面談において真摯な姿勢で対応できるか</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> </tbody> </table> <p>指導・助言内容</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>2. 中間面談の指導・助言内容及び評価（教頭・校長）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">評 価 項 目</th> <th style="width: 15%;">教頭評価</th> <th style="width: 25%;">校長評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 目標達成の達成度</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> <tr> <td>・ 授業改善の満足度</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> <tr> <td>・ 課題解決の進捗度</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> <td style="text-align: center;">A B C</td> </tr> </tbody> </table> <p>指導内容</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>所 見</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>					診 断 項 目	評 価	・ 目標設定は適当であるか	A B C	・ 目標達成の具体的な手だては妥当であるか	A B C	・ 意欲的に研究・研修計画を思考しているか	A B C	・ 総合的に積極的な内容となっているか	A B C	・ 面談において真摯な姿勢で対応できるか	A B C	評 価 項 目	教頭評価	校長評価	・ 目標達成の達成度	A B C	A B C	・ 授業改善の満足度	A B C	A B C	・ 課題解決の進捗度	A B C	A B C
診 断 項 目	評 価																											
・ 目標設定は適当であるか	A B C																											
・ 目標達成の具体的な手だては妥当であるか	A B C																											
・ 意欲的に研究・研修計画を思考しているか	A B C																											
・ 総合的に積極的な内容となっているか	A B C																											
・ 面談において真摯な姿勢で対応できるか	A B C																											
評 価 項 目	教頭評価	校長評価																										
・ 目標達成の達成度	A B C	A B C																										
・ 授業改善の満足度	A B C	A B C																										
・ 課題解決の進捗度	A B C	A B C																										

（実践例 ⑥）

## 学校評価・教職員評価制度を実施する際の「振り返り」ポイントチェックシート

教職員評価制度の視点から	サイクル
<p>&lt;制度の理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員は教職員評価制度の趣旨を正しく理解しているか</li> </ul> <p>&lt;学校経営計画・自己目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営計画を理解し、その内容と自己の業務とが関連した自己目標を設定しているか</li> </ul>	P
<p>&lt;資質能力の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の自己目標の達成のために必要な研修が用意できているか</li> </ul> <p>&lt;コミュニケーションの工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が日常の教育活動についての相談や振り返りができる雰囲気を作り出しているか</li> </ul>	D
<p>&lt;P・D・C・Aの働き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職と教職員が自己目標に基づく実践やその評価結果について共通の理解をしているか</li> </ul>	C
<p>&lt;学校組織の活性化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織における自らの役割や責任について振り返り、組織の在り方を工夫改善しようとしているか</li> </ul>	A

学校評価・教職員評価制度をつなぐ視点から	サイクル
<p>&lt;学校経営計画・自己目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営計画が年度当初に提示できたか</li> <li>・全教職員の自己目標と学校経営計画との関連を点検できているか</li> </ul> <p>&lt;P・D・C・Aの働き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の環境（教職員、施設設備、情報、ネットワーク等）の強みと弱みは何かを把握しているか</li> </ul>	P
<p>&lt;コミュニケーションの工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が重点目標に即して組織的に教育活動に取り組めるよう、教育改革や地域の状況等の資料を教職員へ提示しているか</li> <li>・教職員の日々の実践に対して資質能力の向上と学校組織の活性化の視点から助言をしているか</li> </ul> <p>&lt;資質能力の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営計画の達成のために必要な研修を各教職員に受けさせているか</li> <li>・研修によって身に付けた内容を教職員で共有し、協働して取り組もうとしているか</li> <li>・教職員の斬新なアイデアや建設的な意見を取り入れ、それらが生かせるような仕組みを作れたか</li> <li>・授業観察が当該教職員だけのものに終わらず、学校全体の授業改善に生かす工夫をしているか</li> </ul> <p>&lt;学校組織の活性化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年及び分掌組織内で学校づくりに向けた協議の機会が設定され、その考えを取り込む形で企画、実施ができたか</li> <li>・各種業務や会議の持ち方等を工夫し、時間の余力を作り出そうとしているか</li> </ul>	D
<p>&lt;学校組織の活性化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標や具体的な方策を達成するために、個人の役割や校務分掌組織の在り方の点検を行っているか</li> </ul> <p>&lt;P・D・C・Aの働き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年及び分掌組織で行う評価について外部から評価を受ける機会を設けたか</li> </ul>	C
<p>&lt;学校経営計画・自己目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の学校経営の重点の作成について教職員から意見を求め、その建設的な意見を次年度の学校経営計画に取り込むことができたか</li> <li>・自己目標の評価について、管理職と教職員が相互の評価を共通の視点で話し合うことができたか</li> </ul> <p>&lt;P・D・C・Aの働き&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価・教職員評価の運用に関する課題に対して、次年度への改善策を見つけられたか</li> </ul>	A

(実践例 ⑦)